

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		商店街（代表者）	お客様の様子	・総額表示が大分浸透したため、価額について客の不安はないようである。ゴールデンウィークや土日の天気あまり良くなかったせいか、遠出も少なく、近くの商店街で買物を済ませている。
		一般小売店〔金物〕（経営者）	販売量の動き	・鉄鋼関係の価格は上がる一方であるが、需要は落ちていないので販売量は若干上向きといえる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・単価は依然として上がっていないが、客のウォンツに合わせて買上点数の増加に取り組んでおり、点数、客単価が上向いた結果、売上も増加している。
		スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・総額表示の影響で4月の売上は落ち込んだが、5月に入り、来客数、販売点数ともに伸び、ほぼ以前の状態に回復してきている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・ゴールデンウィークや大きな祭りがあったため、1人当たりの単価が大幅に上昇している。前年比での売上は128%、来客数が107%となっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・単価が低く、売上はそれほどでもないが、買上客数が10%伸びている。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・今月に限ったことであるが、態度に迷いがなく商品を購入する客が、年齢を問わず増えている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・全体的にみて来客数が減少しているが、買上率、平均単価は上昇しており、やや良くなっている。客は、欲しい商品を購入するために来店し、その他の場合は来店すらしないという極端な流れになっている。
		その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	販売量の動き	・最需要期が終わって一段落つき、前月比では落ち込んでいるが、3か月前と比べると売行きは若干良くなっている。
		一般レストラン（業務担当）	来客数の動き	・前年同月比での宴会組数が5%ほど増加している。
		旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・客単価が低迷を続けていることから、売上の増加は難しいが、店舗にぎわいが若干戻りつつある。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・年内中に居住しないと住宅ローン控除が適用されないため、タイムリミットの9月にかけては駆け込み需要がある。
		変わらない		商店街（代表者）
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き			・売上高は、5月のゴールデンウィークまでは前年を上回っていたが、それ以降は低迷している。前年に比べ、今年の5月は日祭日が多いため、実質的にはもっとマイナスである。
スーパー（経営者）	単価の動き			・4月からの総額表示の影響で客単価が下がり続けている。前年比での来客数は3%増であるが、買上点数は5%減少しているため、客単価は2.7%減である。
スーパー（経営者）	競争相手の様子			・競合店のチラシ広告の回数が増えてきている。価格も下落傾向にある。
スーパー（統括）	販売量の動き			・総額表示の導入以降、1人当たりの買上点数が減少している。来客数は増加しているものの、単価も落ち込んでいることから、前年並みの売上確保は厳しい状況である。
コンビニ（経営者）	単価の動き			・前年比でみるとほぼ客数、売上とも横ばいであるが、客単価が若干増加している。店舗前の道路の地中化工事により駐車場の出入りが不自由であるが、新規商品の試食、大量陳列等のPRが効果を上げている。
コンビニ（経営者）	販売量の動き			・客が来店した際の滞店時間は長くなったが、必要な物だけを購入する傾向は変わらない。
コンビニ（店長）	お客様の様子			・客の毎日の買物内容は、新製品が出た場合を除き、あまり変わらない。
衣料品専門店（統括）	来客数の動き			・中心街への来客数、通行量については悪い状況が続いている。郊外大型ショッピングセンターへ客がかなり流出している。

	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・以前はそうでもなかったが、客は小型車しか購入せず、値引き交渉もかなり厳しく、相当引かないと売れない。
	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・今までは狭い地域で行っていた広告、宣伝の範囲をかなり広げたところ、来店したことのない地域の客が来るようになり、良くなっている。一方、周辺地域の客からはあまり良い話がないので、景気はさほど良くなっている感じではない。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊関係は、来客数は増加しているが、単価はここ1年上昇していない。宴会、割ぼう、各レストランはいまだに伸び悩んでいる。
	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・直近での旅行申込が多くなっており、問い合わせも先のことではなく、現在の状況に関してである。
	通信会社(営業担当)	競争相手の様子	・競合他社のサービス打ち出しへ対抗し、新サービスを発表している。業界全体が値下げ競争で厳しくなっている。
	観光名所(職員)	お客様の様子	・7年に1度の大きな祭りがあったが、前回に比べて人出も多く、関連する売上は好調である。その他については例年並みである。
	遊園地(職員)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク期間中は、ほぼ目標どおりの集客ができたものの、それ以降は苦戦を強いられている。5月全体の入場者数は前年比で微減となっている。
	ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・来場者の予約は前年度とほぼ変わらない。
	ゴルフ場(支配人)	競争相手の様子	・平日はもとより土日の予約も遅くなっている。周辺コースも同様で、ゴールデンウィーク後も平日料金の値下げや、土日を含めた特別企画が目につく。
	設計事務所(所長)	販売量の動き	・販売量が徐々に減少しており、3か月前と比べても良くなる兆しはない。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・客が周囲の地価よりも低い価格でと、厳しすぎる金額を提示するようになってきている。不動産価格の下落には歯止めがかからない状況である。
やや悪くなっている	一般小売店[青果](店長)	販売量の動き	・例年この時期はメロンの地方発送などがかなりあるが、今年は半分近くになっている。
	家電量販店(店長)	お客様の様子	・AV関連商品が不調で、大型の液晶テレビ、プラズマテレビの販売量がかなり落ち込んでいる。
	高級レストラン(店長)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの集客に期待していたが、前年比で2割近くも低下し、連休明けは長期休暇での出費の影響で、ランチ、ディナーともに低調となっている。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・以前からフリーの客は少しずつ減ってきていたが、その分宴会利用が堅調で、割合良い状況であったが、このところ宴会利用が落ち込んでいるので、前年より一段と悪くなり、5月は少し暇である。
	観光型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・前年に比べ、観光客の来館者が2割減少している。
	その他サービス[自動車整備業](事務長)	来客数の動き	・新年度に入っでの入庫量は、前年に比べ1割程度落ち込んでいる。ディーラー等の顧客囲い込みが強く、1度目の車検入庫は依然として少ない。
	設計事務所(所長)	それ以外	・企画の数は多いが、実際に仕事に結び付く確率が低くなっている。
	住宅販売会社(経営者)	来客数の動き	・3～4月は販売状況が多少良い方向にあったが、連休明けから広告への反応、来場者数など、極端に動きが鈍くなっている。周辺地域の景気は最低の水準で、公共事業、民間事業ともに沈滞ムードであることから、建設業の倒産が相次いでいる。
悪くなっている	百貨店(店長)	販売量の動き	・前年比で4月が96%、5月は80%と更に悪化している。外商も70%を割っており、非常に悪い。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・4月以降、売上、来客数とも前年を10%下回っている。
	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・前年と比べ、来客数が60%、販売台数は70%と落ち込んでいる。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・例年であれば、5月前半はゴールデンウィークで売上が伸び悩むものの、後半になると盛り返すところであるが、今年は来客数が少なく、売上は半分には落ち込んでいる。

		タクシー運転手	お客様の様子	・家族による送迎が増え、私用のタクシー利用は減少している。経費節減により会社関係の飲み会などでのタクシーチケットも出なくなっている。
企業 動向 関連	良く なっている	輸送用機械器具 製造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・5月は連休があるため、製造業では実質的な製造日 数が少ないが、フル稼働となっている。生産は3か月 前比で15%、前年比で15～20%増加している。
		化学工業（総務 担当）	取引先の様子	・特殊鋼のメーカーは仕事が十分に入ってきており、 売り先の選別を行うほど余裕がある。半導体関連の企 業の受注も堅実な動きである。
	やや良く なっている	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・例年の大量受注生産が動き出し、フル稼働である。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・安価で採算が厳しいものの、仕事が出てきており、 同業者は全般的に多忙である。
		輸送業（営業担 当）	取引先の様子	・取引先の通信販売関係のチャーター依頼数が伸びて いる。その他雑貨関係も安定しているので、やや良く なっている。
		新聞販売店〔広 告〕（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・今月のチラシ出稿量は101%となっており、順調に 推移している。特にパチンコ、ゲーム店のチラシ出稿 量が目立ち、業界の隆盛がうかがえる。
		その他サービス 業〔情報サー ビス〕（経営者）	取引先の様子	・単価は依然として厳しい状況にあるが、取引先が設 備投資や情報化投資に前向きになってきている。
		窯業・土石製品 製造業（総務担 当）	それ以外	・3月決算で空前の収益報道がなされているが、地元 の中小企業では実感もなく、道遠しである。
	変わらない	一般機械器具製 造業（生産管理 担当）	受注量や販売量 の動き	・建設機械関連、油圧機器関連、自動車関連の受注は 高水準で横ばいとなっており、大きな変化はない。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・売上は毎年前年より5～10%減少していたが、ここ にきて前年と同じ売上を維持できるようになっている。 回復したわけではなく、下げ止まったという感じ である。
電気機械器具製 造業（経営者）		受注量や販売量 の動き	・仕事量は非常に少なく、部材、材料価格の高騰を販 売価格に上乗せできないことも問題である。	
金融業（経営企 画担当）		取引先の様子	・取引先の製造業者から、受注増で忙しくなっている ものの、下請の場合、部品検査等が厳しく返品も多い ため、収益的には厳しいと聞いている。一方、周辺の 観光地は市町村の合併効果が出ているところもあり、 ゴールデンウィークの観光客は前年より増加してい る。	
不動産業（管理 担当）		受注量や販売量 の動き	・入居テナントで増床したところがある一方、規模縮 小で賃貸面積を減らしたところもある。移転したテナ ントはオーナー負担で個別空調機器を入れたので、そ の分マイナスである。	
やや悪く なっている	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・特需期にもかかわらず、例年に比べ、受注量の動き が悪くなっている。	
	その他サービス 業〔放送〕（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・受注量は製造業を中心に横ばいである。商業、サー ビス業、流通業からのスポットコマース、イベント 受注が減少しているので、全体では若干減少してい る。	
悪く なっている	建設業（総務担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・半年前から営業をかけていた民間土木工事を受注す ることができたが、見積りよりも13%低い価格での受注 となっており、施工には努力が必要である。	
	不動産業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・新規物件の委託を受けても、以前と比べ受注額がが なり低めに設定されている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （営業担当）	周辺企業の様子	・取引先の中でIT関連の製造業は相変わらず好況の ところが多い。特に、一部のIC関連の業種は、日夜 フル操業でも追いつかないほどである。外国人労働者 でカバーしている製造業も多く、派遣では単価的に折 り合わないために、業務委託での現場ライン就業がほ とんどである。このほか、次世代携帯の普及のためか 携帯電話ショップからの派遣要請は依然としておう盛 である。

	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業による新規事業の開店、展開等で、当社の広告への受注、発注が非常に増加している。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人広告掲載数が以前の数十%増しと、非常に安定して伸びている。また、周辺観光スポットへの4月1日から5月5日までの来客数は合計54万人以上と、前年比2けた台の伸びであり、街中が非常に潤っている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業において、製品の量が大きく動いている様子で、開発系の技術者とは別に現場、技能者の求人の増加が目立っている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	それ以外	・新規受注数もある程度あるが、その分既存の契約が解約となっている。新規客も利幅を大きく取れるような好条件での契約はなかなかないので、変わらない。
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺で大型スーパーが夏にグランドオープンするが、テナントも含めてパート採用が多い。全般的に求人が多少増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・4月までは新規求人数、有効求人数とも、前年比で大幅に増加していた。5月に入り、新規求人は前年をわずかに上回る程度となっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人倍率が1倍を若干割り込んでいる。有効求人倍率も若干減少したが、大きな変動はない。
	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・就職者数は4月に25%増加し、その反動で5月は10%減少している。新規求職者数も一進一退である。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数が5か月連続で上昇している。新規求人にあまり変動はみられず、新規求人倍率は、5か月連続で減少している。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・今春卒業者への求人問い合わせの時期であるが、事務職を始め、営業、サービスなど例年並みの動きである。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-